

JACET中国・四国支部 Newsletter

第 21 号

目次

1. 巻頭言	支部長 岩井 千秋	pp.1-2
2. 2018 年度春季支部研究大会報告	大会実行委員長 岩井 千秋	p.3
3. 2018 年度支部第 1 回役員会報告	事務局幹事 岩中 貴裕	p.4
4. 2018 年度支部研究会 第 10 回 OPP イベントについて	OPP 代表 三熊 祥文	pp.4-5
5. 2018 年度秋季研究大会発表応募要領		p.5
6. 2018 年度『JACET 中国・四国支部研究紀要』第 16 号投稿募集		p.6
7. 事務局だより		pp.6-7
編集後記		p.7
【重要】 ニュースレター (NL) 配信についてお願い		p.8

1. 巻頭言

中国・四国支部長 岩井 千秋

7月初旬、中国・四国地方を中心に、西日本の広範囲を集中豪雨が襲い、各地に甚大な被害をもたらしました。被害にあわれた皆様に心からお見舞い申し上げますとともに、犠牲になられた多くの方々に哀悼の意を表します。支部の会員の皆様にはお怪

我などされていなければよいのですが。

大雨による被害というと、4年前に広島市安佐南区で発生した土砂災害を思い出します。あの時は、私の所属先で JACET 年次国際大会を開催する 10 日前でした。その準備のため、前夜の大雨の被害も知らないま

ま、早朝に大学の研究室に出向きました。そうしたところ、昼頃から JACET 本部や知人からメールが入りはじめ、事の重大さを知った次第です。大学からわずか数キロ先であるような惨事が起こることなど、想像もしませんでした。そして今回の豪雨。ささやかながら 7 月中旬の連休に、学生と一緒に半日ほどボランティアに参加しましたが、炎天下での過酷な作業の一端を体験し、被災された皆様のご心痛はお察しして余りがあることを実感した次第です。復興にはかなりの時間を要することでしょうが、被災された皆様に一日も早く平穏な日々が戻ることを願ってやみません。

さて、今回の号では、支部会員の多くの皆様にも回答にご協力をいただいた第 4 次 JACET 実態調査の結果について、お礼方々ご報告させていただきます。お陰様で、中国・四国支部からは約 100 名の先生方にご協力いただきました。今回の調査は「大学英語教育の担い手に関する総合的研究」と題して行われました。大学の多様化や日本社会の少子化に伴って、大学の英語教育の担い手にどのような変化が起こっているのかを調べることに主目的でした。予想されたことではありますが、調査の結果、専任教員、とりわけ若手のそれが大幅に減り、任期付き採用や非常勤への依存度が高くなりつつある実態が浮き彫りになりました。また、専任教員の業務内容もかなり広範囲に及び、授業担当以外にも、カリキュラム作成、入試業務、人事、海外研修、オープンキャンパス、学内の各種委員会業務など枚挙にいとまがありません。授業も、従来の 4 技能中心型のカリキュラムから、試験対策目的のクラス、プレゼンやディスカッション、ESP/EAP、さらには CLIL やリメディアル教育と多彩です。(この調査の詳しい結果(報告書)は近日中に JACET ウェブサイトで一般公開される予定です。)

この結果をわが身に照らし合わせてみると、確かにこの 10 年、20 年の間に大学を取り巻く職場環境が激変したことを実感します。私は大学に勤め始めて 30 年少々になりますが、この忙しさと煩雑さはここ 20 年

で急速に広まったネット社会と無縁ではないように感じます。若い先生方には申し訳ないのですが、私が最初に勤め始めたころ、大学はまだ優雅なものでした。今はどうか。早朝から大量のメール処理に追われ、研究費執行に伴う書類や報告書はより精緻さを求められ、授業に至っては緻密なシラバスの作成や出席管理、授業アンケートなどの付随業務の山。初等、中等学校教員の忙しさが少しずつマスコミで取り上げられるようになってきましたが、大学も例外ではないことに気づきます。こうした忙しさのしわ寄せは、必然的に研究活動・交流の時間削減に向かいます。聞くところによると、会員数や参加者の減少により活動の休止を余儀なくされる学会もあるとか。本年 6 月の理事会・社員総会で各支部の会員数が報告されましたが、私たちの中国・四国支部は約 160 名で、幸いなことにここ数年大きな変化はないようです。しかし、今後のことを考えると、決して楽観視はできないように感じます。そう考えると、前号のニューズレターにも書きましたが、支部活動がサステイナブルで、会員の皆様にとって有益かつ楽しい場になるようにとの思いがますます強くなります。

最後に、今年度の支部の活動等について簡単にご報告しておきます。春季の支部研究大会は、次のページでご報告するとおり、僭越ながら私の所属先の広島市立大学で実施させていただきました。次に秋の支部大会ですが、今年も松山大学大学院言語コミュニケーション研究科のご厚意により、同研究科の研究会と一緒に開催させていただくことになっています。研究会・秋季大会では吉田研作先生(上智大学)にご講演いただく予定です。大会に向け、同大学の瀧由紀子先生、寺嶋健史先生にはすでにその準備でお世話いただいているところです。なお、秋季大会は当初の 10 月 20 日(土)から 10 月 27 日(土)に変更になりましたので、皆様、お間違えのないようにご注意ください。それでは皆様、秋に松山でお会いしましょう。

(広島市立大学)

2. 2018 年度春季研究大会報告

大会実行委員長 岩井 千秋

2018年度春季の支部研究大会を、平成30年6月2日（土）に広島市立大学図書館・語学センター棟にて、午後1時から5時半にわたり、開催させていただきました。大会には53名の方にご参加いただくとともに、株式会社桐原書店の大学営業部長、杉原一明様に教科書・教材等の提示で大会を盛り上げていただきました。ご参加いただいた皆様、大会準備に向けてご尽力いただいた皆様に心からお礼申し上げます。

この支部大会では、全部で8件の研究発表の申請があり、2室に分けて4件ずつ発表してもらいました。発表者、および発表タイトルを以下にお伝えします。

第1室（語学センター403A教室）

発表1 「児童・生徒の英語でのパフォーマンス評価のためのルートマップ的ルーブリックの開発」中山晃先生（愛媛大学）

発表2 「大学英語教員の教師アイデンティティに関する質的研究」森谷浩士先生（広島経済大学）

発表3 『「教室内英語評価尺度」を活用した英語教師教育—模擬授業における教師英語の省察』池野修先生（愛媛大学）・中田賀之先生（同志社大学）・木村裕三先生（富山大学）・長沼君主先生（東海大学）

発表4 「英語学習における動機づけと学習量に与える「井の中の蛙効果」の検討—所属クラスの習熟度と所属クラス内での位置づけのどちらの影響が大きいのか—」関谷弘毅先生（広島女学院大学）

第2室（語学センター403B 教室）

発表1 「ロアルド・ダールの『Gallop Foxley』における言語表現とユーモアについて」田淵博文先生（就実大学）

発表2 「高専1年生に対する体育CLILの可能性（2）—英語を使用したバレーボールの授

業を事例として—」二五義博先生（海上保安大学校）・伊藤耕作先生（宇部工業高等専門学校）

発表3 「誤答分析に基づく音素配列確率の高い対照単語リストによる発話単語認知能力の向上について」小山尚史先生（岡山大学）

発表4 “The Changing Landscape for Elementary School English Education in Japan: Preparing Future Teachers for Future Challenges.” PARKIN, Douglas (Yamaguchi Gakugei University)

研究発表に続き、講演会を開催しました。周知のとおり、2020年に大学入試制度が大きく変わります。とりわけ英語については、従来の「読む・聴く」に加え、「話す・書く」の4技能をテストすることが文科省から求められており、英語外部試験の利用方法が多くの大学にとって喫緊の課題となっています。そうした状況に鑑み、英語の試験を中心とした大学入試改革の動向について、株式会社進研アド中国・四国支社長の延原範昭様に講演をお願いしました。大会直前の依頼にも関わらず、ご快諾いただき、この場をお借りしてお礼申し上げます。講演は「入試改革の動向と高校教育改革の現状～英語教育を中心として～」と題してお話いただきました。膨大な資料をご準備いただき、この入試改革のねらい、高校の準備状況、そして今後どのような状況が想定されるのかなどについて90分間にわたってお話いただきました。講演後にはフロアから次々と質問があり、この入試改革に対する関心の高さを感じました。

研究発表、講演会ともに充実した半日となり、参加者にもご満悦いただけたのではないのでしょうか。皆様、ありがとうございました。

（広島市立大学）

3. 2018 年度 JACET 中国・四国支部

第 1 回役員会報告

事務局幹事 岩中 貴裕

2018 年 6 月 2 日（土）に 2018 年度第 1 回支部役員会が開催され、2017 年度事業報告、2018 年度事業計画（案）、予算（案）および人事（案）について話し合いが行われました。2018 年度（後期）および 2019 年度事業計画について、お知らせいたします。

1) 2018 年度秋季研究大会
日程：2018 年 10 月 27 日（土）
場所：松山大学
（愛媛県松山市文教町 4-2）

2) 2018 年度 Oral Presentation & Performance (OPP) Event
日程：2018 年 12 月 16 日（日）
場所：調整中

3) 2019 年度春季研究大会
日程：2019 年 6 月 1 日（土）予定
場所：就実大学（岡山県岡山市）

4) 2019 年度秋季研究大会
日程：2019 年 10 月 19 日（土）
場所：愛媛大学（愛媛県松山市）

5) 2019 年 OPP Event
日程：12 月 16 日（日）
場所：未定

6) 支部紀要・支部ニューズレター
・『大学英語教育学会中国・四国支部紀要』
（第 16 号）
発行：2019 年 3 月 31 日（予定）
・支部ニューズレター
発行：2018 年 7 月 30 日（第 21 号）
2019 年 1 月 10 日（第 22 号）

4. 2018 年度支部研究会 OPP イベントについて

OPP 代表 三熊 祥文

この度の西日本豪雨災害では、直接影響を受けられた会員の方も多くおられるのではないかと心よりお見舞い申し上げます。そのような中、祭りのイベントは自粛という苦渋の決断を強いられたケースも多くあるように伝え聞きます。賛否両論ある中のそうした決断に敬意を示しつつ、OPP 研究会では今年も英語教育における学生の尊い向上心に応えるため、Oral Presentation & Performance (OPP)を開催いたします。例年の参加校の中には、この度の災害の影響が

キャンパスにまで及んだ大学もあるやに聞いておりますが、そんな

中でも懸命に英語を研鑽しようと努力を惜しまない学生の「居場所」として、役立ってくれることを切に願っております。

昨年同コラムにおいて、「祭り」の要素のひとつに「学習者がコミュニティーの成

募集期間	8月31日(木)まで。
開催日時	2018年12月16日(日) 10時～16時頃まで
開催場所	未定

員として成長していく『コミュニティーの発展的再生産』があると指摘しましたが、それはすなわち英語学習者としてのアイデンティティ形成過程と翻訳できると思います。他大学との交流も含めたこの祭りで、より強固に「英語学習者としての自分」を俯瞰できる場としての機能を発揮することが期待されます。

今年は第10回の記念大会となります。区切りのよいこの年に、会員の皆様のご参加をお待ちしております。会場は現段階で未定となっておりますが、8月末まで申し込みを受け付けますので、奮ってご応募ください。

募集条件

1. JACET 支部会員であればどなたでもエントリー可。
2. 先生方が指導されている学生さんによるプレゼン。
 - ・各大学の発表時間は最長 20 分まで
 - ・テーマ、発表形式は自由
 - ・先生の発表ご参加も歓迎
3. 受付は先着順で、8 校程度まで。
4. 申込みはメールにて代表者へ。
y.mikuma.ir@cc.it-hiroshima-ac.jp

(広島工業大学)

5. 2018 年度秋季研究大会発表募集要領

2018 年 10 月 27 日 (土) に 2018 年度秋季研究大会が開催される予定です。下記のとおり、研究発表の募集をいたします。奮ってご応募ください。なお、今回は懇親会を大会前日の 10 月 26 日 (金) に実施しますのでご注意ください。

支部秋季研究大会

日時：2018 年 10 月 27 日 (土)

場所：松山大学

(愛媛県松山市文京町 4-2)

A) 応募情報(英語での併記もお願い致します)

- (a) 発表題目 (Title)：日本語と英語
- (b) 種別 (Style)：自由研究発表, 実践報告, 事例研究など
- (c) 氏名 (Name)
- (d) 研究領域 (Research area)
- (e) 概要 (Abstract)：目的, 背景, 仮説, 方法, 結論, 引用文献など。日本語の場合は 600 字以内, 英語の場合は 250 words 以内とする。
- (f) 所属 (Affiliation)

(g) 使用機器 (Equipment needed)

(h) 連絡先 (Contact address)：メールアドレスなど

B) 申込応募期間

■2018 年 9 月 30 日 (日)

午後 11 時 59 分まで

■申込先

下記支部 HP の申込フォームをご利用ください。

研究発表及び参加申込みフォーム

<https://ws.formzu.net/fgen/S23969810/>

(7 月 30 日～9 月 30 日まで申込み可能)

懇親会申込みフォーム

<https://ws.formzu.net/fgen/S89320738/>

(懇親会は大会前日の 10 月 26 日に行われます。10 月 1 日～12 日まで申込み可能)

C) プログラムおよび発表スケジュール

詳細は支部会員 ML, および支部 HP でお知らせします。(支部会員 ML へのアドレス追加をご希望の方は事務局までご連絡ください)。

■問い合わせ先

事務局幹事 岩中 貴裕

iwanaka@y-gakugei.ac.jp

6. 2018年度『JACET中国・四国支部研究紀要』第16号

投稿募集

質的研究や量的研究など様々な観点に基づく論文、リサーチ・ノート、実践・研究報告、およびブックレビューの4つの分野の研究成果を発表する場として、年一回3月に支部紀要を刊行しています。

応募資格は、所定の学会費を完納した支部会員とします。ただし委嘱原稿については、この限りではありません。

投稿論文は、原則として過去2年以内に開催された全国大会および支部大会で発表を行った研究にもとづくものが望ましいです。

審査は、委嘱原稿を除き、紀要編集委員会が指名する審査員が担当し、査読の結果を踏まえて編集委員会が採用の可否を決定いたします。

JACET中国・四国HPにある投稿規程をご参照の上、奮ってご応募ください。

なお、発行までの日程は原則として下記のとおりです。

- 論文投稿申込締切り：9月末
- 投稿原稿締め切り：10月末
- 審査結果通知：12月末
- 修正原稿締め切り：1月末
- 刊行：3月末

投稿先：支部HP フォームズから
仮題目提出

<https://ws.formzu.net/fgen/S42433433/>

投稿原稿

<https://ws.formzu.net/fgen/S47515527/>

お問い合わせ：紀要編集委員会委員長
岩井千秋(広島市立大学)

E-mail: iwai@hiroshima-cu.ac.jp

7. ～事務局だより～

2018年1月から2018年7月までの新入会員7名をご紹介します。

★新入会員紹介★

Wilson, Timothy (広島女学院大学)
Olexa, Robert (環太平洋大学)
小山敬一 (就実大学)
Elmetaher, Hosam (広島大学大学院生)
Clingwall, Dion (県立広島大学)
Shrader, Stephen
(ノートルダム清心女子大学)
Hougham, Daniel (広島女学院大学)
(敬称略)

皆様、どうぞよろしくお願ひいたします。

2018年度の支部人事および本部運営委員をお知らせいたします。支部活動発展のために力を尽くしますので、よろしくお願ひいたします。

★支部人事★

【支部役員】

支部長 岩井千秋 (広島市立大学)
副支部長 高橋俊章 (山口大学)

支部幹事 (*は事務局幹事)

*岩中貴裕 (山口学芸大学)

支部会計担当者

堀部秀雄 (広島工業大学)

支部研究企画委員 (24 名)

五百蔵高浩 (高知県立大学)
池野 修 (愛媛大学)
岩中貴裕 (山口学芸大学)
上西幸治 (広島大学)
折本素 (愛媛大学)
小山尚史 (岡山大学)
高垣俊之 (尾道市立大学)
高橋俊章 (山口大学)
瀧由紀子 (松山大学)
田辺尚子 (福山平成大学)
田淵博文 (就実大学)
寺嶋健史 (松山大学)
中住幸治 (香川大学)
中山晃 (愛媛大学)
二五義博 (海上保安大学校)
平本哲嗣 (安田女子大学)
堀部秀雄 (広島工業大学)
松岡博信 (安田女子大学)
三熊祥文 (広島工業大学)
三宅美鈴 (広島国際大学)
山川健一 (安田女子大学)
山中英理子 (広島国際大学)
ローレンス・ダンテ (就実大学)

【本部委員】

理事 岩井千秋 (広島市立大学)
高橋俊章 (山口大学)
総務委員会 (支部事務局幹事)
岩中貴裕 (山口学芸大学)
財務委員会 (支部会計担当者)
堀部秀雄 (広島工業大学)
国際大会組織委員会本部
山川健一 (安田女子大学)
『JACET 通信』委員会
松岡博信 (安田女子大学)
学術出版委員会紀要担当
平本哲嗣 (安田女子大学)
セミナー事業委員会 サマーセミナー担当
田淵博文 (就実大学)
研究促進委員会
岩井千秋 (広島市立大学)
国際交流委員
堀部秀雄 (広島工業大学)
大学英語教育学会賞運営委員会
池野 修 (愛媛大学)

★支部紀要・ニューズレター発行予定★

- 『支部紀要』第 16 号
2019 年 3 月 31 日刊行 (予定)
- 『大学英語教育学会中国・四国支部ニューズレター』
2018 年 7 月 30 日 (第 21 号) 発行
2019 年 1 月 10 日 (第 22 号) 発行 (予定)

【編集後記】

海山の恋しい季節を迎えました。皆様におかれましてはいかがお過ごしでしょうか。

今年の春季研究大会は 6 月 2 日に広島市立大学で開催されました。中国・四国支部ならではのアットホームな雰囲気の中、8 件の研究発表が行われました。

研究発表後は、(株)進研アド中国・四国支社の延原範昭氏を講師にお招きして 2 年後に控えた大学入試改革についての講演会を実施しました。会場でお世話いただいた先生がたには、心より感謝申し上げます。

秋季研究大会は松山大学との共催という形で松山大学にて開催されます。吉田研作

先生 (上智大学) の特別公演が予定されています。10 月 27 日 (土) に皆様にお会いできるのを楽しみにしています。

炎暑しのぎがたいが続いております。ご自愛専一に。

(T. I.)



【重要】 JACET(大学英語教育学会)

中国・四国支部ニューズレターの配信について

支部長 岩井 千秋(広島市立大学)

中国・四国支部では、支部会員の皆様により迅速な情報提供を図るべく、2014年度よりメールにてニューズレターを配信しています。お知り合いの会員の中で、まだ登録をされていない方がおられましたら、下記要領にて登録をされますよう、お知らせください。ご協力の程、どうぞよろしく願いいたします。

1. 支部 HP (<http://jacet.edu.yamaguchi-u.ac.jp>) にアクセスする。
2. 入力フォームのサイトのページ (<http://ws.formzu.net/fgen/S61768122/>) に入る。
3. ウェブの入力フォームに右上の【入力情報】を入力する。

【入力情報】

・支部のメーリングリストに登録を希望しますか？

- すでに登録している
希望する
希望しない

(※すでに事務局からのメールが届いている方は登録済みです。)

・登録を希望するメールアドレス

※ニューズレターはメール送信とともに、支部ホームページでも公開します。

なお、上記の作業についてご不明な点がありましたら、事務局幹事の岩中までお問い合わせください。

アドレス : iwanaka@y-gakugei.ac.jp

メールアドレスが変更された方は、事務局までお知らせください。

JACET 中国・四国 Newsletter 第21号

2018年7月30日 発行

発行人 : JACET 中国・四国支部 支部代表 岩井 千秋

編集 : JACET 中国・四国支部 事務局幹事 岩中 貴裕

発行所 : 〒754-0032 山口県山口市小郡みらい町1丁目7番1号 山口学芸大学 教育学部
岩中 貴裕

連絡先 : Tel:083-972-3288 FAX: 083-972-4145 E-mail: iwanaka@y-gakugei.ac.jp